

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

意見募集期間	令和7年4月15日～5月30日
意見の提出方法	直接持参、郵便、電子メール、意見提出フォーム
意見の提出者数	19人

大紀町

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
1	はじめに	P2	経年劣化とあるが近くでは、近鉄宇治山田駅は昭和6年など各所に古い庁舎もある。大紀町の最新の耐震診断は結果はどうなのか？（公共施設は10年に1度の耐震診断では？）	平成15年度に行った耐震診断の結果では「建物のコンクリートに著しい劣化や強度不足がみられる」とされており、耐震補強の効果は期待できないとの意見書も出ています。現庁舎の耐震補強工事を平成16年と平成19年に行っているとはいえ、専門家に確認したところコンクリートの強度が良くなることはないので、診断しても良い耐震結果が出ることはなく、また地震により倒壊等の可能性が非常に高いと考えられるとのことでした。このため新たな耐震診断は行っていませんでしたが、今回のご意見を踏まえコンクリートの強度検査等を行ったうえで基本構想に反映していきたいと思います。
2	はじめに	P2	説明会の開催時期が農繁期と重なっており、出席者は必ずしも多くなかったと聞いている。農繁期は避けるべきではなかったか。また実施に当たり回覧板だけでなく行政無線で参加を呼びかけるなどの努力は必要だったのではないかと。各地区での説明会の参加人数、出された意見など詳細情報を開示していただきたい。 パブリックコメントについては本庁の総務企画課と各支所の窓口及び町のホームページで閲覧でき意見募集を実施するとされているが、「広報たいき」に掲載しただけで、本庁や支所に出向いて閲覧しようとする方、またホームページにアクセスして閲覧しようとする方がどれほど居るだろうか。また柏崎地区ではまだ説明会が行われていないのに、その前に意見募集の期限が締め切られるというのは、あまりにも町民を無視したやり方ではないのか。パブリックコメントについても、町民への周知徹底の努力が必要だったのではないかと。意見募集で寄せられた意見についてはどのように対処するのか、その方法を知らせていただきたい。	パブリックコメントにつきましては、提出いただきました意見に町の考え方を付して、町ホームページにて公開します。 なお、パブリックコメント等で寄せられた意見につきましては、町議会へ報告するとともに、基本設計の段階で慎重に検討してまいります。 また新庁舎建設地区説明会の周知につきましては、回覧及び行政無線によるマイク放送を行っておりますし、説明会での意見要旨につきましても、パブリックコメント同様町ホームページにて公開をします。
3	現庁舎の問題点	P3-4	現庁舎問題点についてを拝読し、早期実現することが町民の皆様のために望ましいと思います。	様々なご意見も参考にし、ご理解をいただきながらできるだけ早期に実現したいと思っています。

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
4	現庁舎の問題点	P3-4	老朽化ですが、最新の耐震診断を数字で具体的にのせていない。防災施設は現在の本部錦、支部本庁、大内山に分かれている方が逆に災害が起こった時にその場所々で対応できると思う。(交通が遮断される) 書類の保管…デジタル化しているのにそんなに書類があるのか？バリアフリーと言うなら1階建てにすべき！実際どれの方が今の庁舎で困ったのか？駐車場も自分が本庁に行った時に1度も駐車場に困ったことはありません(一日に何人が来庁し混雑しているのか？) すべて具体的にはっきりと数字で表してください。(本当に困っているとは思えません) 新庁舎の必要性が見えない！	No.1の町の考え方と同じ なお防災拠点としての機能の考え方等の問題点につきましては、今後基本設計の段階で検討していきたいと思っています。
5	現庁舎の問題点 (1)老朽化	P3	「大地震発生などの際には、建物老朽化による来庁者や職員の安全確保が心配されるところです。」と書かれているが、H16年の耐震補強工事以降の一番新しい耐震診断はいつ行い、その結果危険度はどれ程だったのかを明らかにしていただきたい。	No.1の町の考え方と同じ
6	現庁舎の問題点 (1)老朽化	P3	耐震診断を平成16年以降実施していないのは何故か。国の指針では定期的実施すべきとなっている。診断した場合結果を公表し、改修ですむ場合は改修費用も明らかにすべき。	No.1の町の考え方と同じ
7	現庁舎の問題点 (2)防災拠点としての機能	P3	現庁舎の問題点は基本計画(案)で指摘されているのが現状です。 南海トラフ巨大地震が危惧されている情勢ですが、現庁舎では発災時の対策、復興への対策には用がなさないと思います。 きちっとした拠点が必要であり、そこから何事も始まると考え現予定地は最適であると考えます。	町といたしましても、いただきましたご意見のとおり考えています。予定する新庁舎建設の位置であれば防災拠点としての機能を確保できると考えております。
8	現庁舎の問題点 (2)防災拠点としての機能	P3	災対本部と災対支部は新庁舎でなくてもすることは同じ。各課を1ヶ所に集約すれば被災した時(新庁舎であっても)何も出来ない。大地震が想定されている今、第2庁舎的に分散化が必要なのでは？	基本構想では、行政事務や町民サービスの面において利便性及び執務の効率性を考えると、各課を集約化するのが適当と考えています。

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
9	現庁舎の問題点 (5)駐車場の問題	P4	「全体的に不足し」とあるが、具体性を欠いており、実態を客観的にデータとして検証すべきである。	窓口に来られる方の駐車場を確保するように努めてはいますが、議会や多人数の会議等を行う場合には、現状駐車場の確保に苦慮している状況です。
10	新庁舎建設の基本方針	P5-6	基本構想(案)であり、事業費及び財源の明記がありませんでした。 生産性人口の減少により、一般財源が年々減少していると思いますが、将来的に財源の確保の見通しはできるのでしょうか。 これから課題もあると思いますが、新庁舎の建設は必要であると思います。	事業費及び財源につきましては、基本構想(案)の6ページに(5)経済的に効率の高い庁舎で記載した表現とし、金額については記載しておりませんが、本庁舎の整備に係る費用については最近整備を行った類似の他自治体の例を参考に見込んでおり、様々な事業の実施に影響を与えることなく行財政運営を行っていきたいと考えています。また今後基本設計の段階で、町財政状況を十分考慮したうえで事業費の精査を行っていきたいと思っています。
11	新庁舎建設の基本方針 (1)来庁する方の利便性に配慮した新庁舎	P5	来庁する方の利便性に配慮した新庁舎を拝読し、新庁舎完成後に来庁者のため、また、災害時の本部として、駐車場にトイレがあればいいと思います。(三重県庁には駐車場に災害時のためのトイレを設置しているとお聞きます。)	災害用の設備につきましては、今後基本設計の段階で検討していきたいと思っております。
12	新庁舎建設の基本方針 (1)来庁する方の利便性に配慮した新庁舎	P5	来庁者(住民)に窓口で各課を案内するのではなく、来庁者の所に担当職員が出向く(窓口で全て対応)様にすれば良い(マニュアルの見直し)またDX化を進めるなら、各課の集約は不要(新庁舎への)。P5とP6の利便性とDXの集約は正反対の内容がかかれている。来庁者は窓口でWEB会議の様にするのも1案では？ 大紀町はすぐ高齢化し独居老人が増えます。安否確認を兼ねて用事のある住人の所(家)へ職員が出向く。昔の御用ききの時代で対応すべき時が来てます。(昔は銀行員も各家を回っていました。)	いただいたご意見は、貴重なご意見として、参考とさせていただきます。
13	新庁舎建設の基本方針 (3)機能的で業務効率の良い新庁舎	P5	広域化している当町では、住民サービス向上面からは支所機能充実を優先し、リモートなどの活用により分庁舎方式の方が機能的で効率がよいのでは。必ずしも課を集約化する必要はない。	No.8の町の考え方と同じ

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
14	新庁舎建設の基本方針 (5)経済的に効率の高い庁舎	P6	美辞麗句が並んでいるが根拠の乏しい説明である。財源問題、投資効果など具体的なコメントなし。財政力指数は県下市町で最下位、自主財源2割の町なので、身の丈に合った、よりコンパクトなものとすべき。イニシャルコストもそうだが、ランニングコストが賄える精緻なシミュレーションが求められる。	No.10の町の考え方と同じ
15	新庁舎建設の基本方針 (5)経済的に効率の高い庁舎	P6	最新の基金残高一覧表によれば、庁舎建設基金は6億5,061万3千円、財政調整基金は12億3,160万2千円であり、今後、地方債や補助金等の活用が前提となると考えますが、町の長期的な財政運営への影響が大きいため、町民への丁寧な説明と納得を得ながら進めていただきたいと存じます。	No.10の町の考え方と同じ
16	DX化に対応した庁舎	P6	基本構想ではDX対応が示されていますが、実態として紙業務・固定席・対面中心の運用が続いており、構想との乖離が見られます。今後の行政運営においては、業務内容に応じてリモート勤務やクラウド共有を積極的に導入し、物理的な庁舎スペースを抑制できるDX設計を具体化すべきと考えます。また、町民サービスも、窓口でしかできない業務から段階的にオンライン申請・相談に移行させることで、職員配置の見直しや来庁者動線の簡略化が可能となります。行政DXの実効的な導入は、庁舎建設の「省スペース・省エネルギー化」と「町民満足度の向上」を両立する重要な鍵であると考えます。	No.12の町の考え方と同じ
17	新庁舎建設の位置	P7	「新庁舎建設の位置、」につきまして現有の箱もの、小中学校の統廃合が進む中で転用はできないのでしょうか？また、大紀町崎にあるパナソニックの工場や滝原郵便局の対面にある工場を大紀町として購入交渉とかはできないのでしょうか？そうすれば費用の削減だけでなく工期の短縮、モディファイ・改造等に対応はできるのではないのでしょうか？	学校等の廃施設の利活用については、想定される規模、構造、立地等の条件において適当な施設ではない思慮しておりますが、いただいたご意見は、今後の調整においての重要な課題でありますので、参考とさせていただきます。

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
18	新庁舎建設の位置	P7	・7ページ新庁舎建設の位置についてを拝読し、大紀町の玄関口として最適と思います。賛沢ですが、コンビニがあればなお良いと思います。	新庁舎建設の位置につきましては、大紀町の中心地であるということで合併時に同意を得た地域であり、現庁舎の位置に近いことから、場所的には住民の方々の利便性の良い場所であると思っています。コンビニ誘致については今後検討していきたいと思っております。
19	想定人口の推移と将来人口の見込み	P8-9	「将来目標人口を基本構想の想定人口とする、」につきまして正直な所、現状を見ても7,300名の維持は難しいと考える方も多いと思います。 人口増減のパターンをいくつか想定してご提示していただきたいと思います。	基本構想では、平成27年策定の人口ビジョンの中で、人口流入の促進、人口流出の抑制や交流人口の増加、合計特殊出生率を長期的な安定人口を確保できる希望的数値として算出しております2035年の人口数を用いていますが、分かりにくい、現実出来出ないとの意見が多いため、社人研の令和17年の約5100人の推計人口数を用いて庁舎への来庁者数や駐車場必要数の算定に修正します。
20	想定人口の推移と将来人口の見込み	P8-9	大紀町人口ビジョンですが、絵に描いた餅ですね。すでに7100人台いったい一年に何人が生まれていますか？こんなビジョンで新庁舎建設は無理！社人研が正しいのではないですか。	No.19の町の考え方と同じ
21	想定人口の推移と将来人口の見込み	P8-9	本基本構想の想定人口を目標人数の7300人をベースとしている。あくまで絵に描いた希望的な見通しでは説得力がない。社人研予測の5100人(あるいはそれ以下)をベースに構想を練るべきでは。	No.19の町の考え方と同じ
22	想定人口の推移と将来人口の見込み	P8-9	2033年(R17)で人口7300人を目指すとあるが、広報たいき4月号では7176人で124人下回っている(人口減が加速している)R17年の10年後に人口を増やせるのか？ 現実的な人口ビジョンの算定をして計画の見直しを(読みが甘い)	No.19の町の考え方と同じ

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
23	想定人口の推移と将来人口の見込み	P8-9	国立社会保障・人口問題研究所によると、2033年には5100人と推計しているが、「大紀町人口ビジョン」では2035年度の総人口は7300人程度を目指しているとしており、「基本構想」の想定人口を7300人としている。これはあまりにも現実ばなれした想定であり、「絵に描いたもち」にすぎないのではないか。人口は減る一方であり、移住などで仮に増えることがあっても年間数世帯程度しか見込めない中で、今後10年間で2000人も大紀町の人口が増えるなどという想定は夢のまた夢と言わざるをえない。	No.19の町の考え方と同じ
24	想定人口の推移と将来人口の見込み	P8-9	人口ビジョンの将来目標人口7,300人は、現在、7,100人台により、人口問題研究所推計値の10年後の2035年の5,117人を人口推計数値とするべきではないか？	No.19の町の考え方と同じ
25	想定人口の推移と将来人口の見込み	P8-9	現在の人口(4月現在)7176人、町の目標は7300人となっているが、毎年減っているのにどうやって人口増をするのか具体的に明示すべき	No.19の町の考え方と同じ
26	議員数	P10	議員数の11人は、人口ビジョンの将来目標人口からみて、9名程度でもよいのでは？	議員数につきましては、現在の議員定数にて算定しておりますのでご理解ください。
27	計画職員数	P10	「現職員数107名を基準、」につきましてDX化、機能的で業務効率の良い新庁舎を目指す中でなぜ職員人員の削減が盛り込まれていないのでしょうか？	機能的で業務効率の良い庁舎としたいと思っておりますが、基本構想では現職員数・現部署数を基本に作成しておりますのでご理解願います。
28	計画職員数	P10	一般職員より管理職以上の人数が多いのには驚きです。職員数も住民の人数が少なくなれば減らしますよね。その人数にあった庁舎の大きさでいいと思います。	No.27の町の考え方と同じ なお、大紀町の管理職は特別職を含め17名で、支所を含めた全職員数に占める割合は、14.3%です。
29	計画職員数	P10	職員数について 20年前の合併時の人口は約12000人。今7100人。それに合わせた職員数で各算定を見直すべき(計画をもっと緻密に)	No.27の町の考え方と同じ
30	庁舎の構成	P11	議会室は毎日使うことなく今のままでよい。 売店いらない。	いただいたご意見は、参考とさせていただきます。

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
31	庁舎の構成	P11	庁舎の一体化は絶対避けるべき。新庁舎も被災するという事を前提に計画し、一部の分散化を考えるべきだ(その場合P6のWEB会議、テレワーク等が生きてくる。危機管理(棟または部屋は離れた所に2ヶ所以上。造りは船舶の様に全て鉄板で囲いコンクリートは一切使わずマグニチュード9や10?(最大)でも壊れない構造にする。)	No.8の町の考え方と同じ
32	新庁舎に配置する部署	P12	新庁舎に配置する部署の現防災課ですが、大紀町防災計画では、地震等の大災害が発生した場合、錦支所が大紀町の災害対策本部となることが定められていますので、防災会議に於いて改めて協議するべきであると共に、大紀町第3次総合計画の見直しについて、大紀町総合計画審議会による協議も必要である。そして、大内山支所の教育委員会は、B&G海洋センターのプール、体育館が隣接しており、いきいきプラザは、広いスペースがある為、大災害時の2次避難所としての利用の観点と錦支所の防災課と大内山支所の教育委員会は、大紀町の合併協議当時の歴史の観点から分庁舎の扱いでもよいのでは？	No.8の町の考え方と同じ また、地域防災計画や総合計画の見直しにつきまして、今後の基本設計の状況に応じ所定の協議を行っていきます。
33	新庁舎に配置する部署	P12	すべての機能を1か所に集中させるのではなく、防災拠点や住民サービスの機能を適材適所で分散配置する「分散型庁舎」案も積極的に検討いただきたいと思います。これにより、建設規模の縮小、地域間の利便性確保、災害時のリスク分散につながります。例えば、防災機能を現錦支所等に残す、教育機能は大宮エリアに配置するなど、既存施設の有効活用を進めることで、建設コストの圧縮と町全体の防災力強化の両立が可能と考えます。また、建設課については防災対応やインフラ整備の観点から本庁舎またはその敷地内に配置するのが望ましい一方、産業振興課については地域密着の業務が多いため、大宮エリアなどの地域拠点に分散配置することも現実的であり、町全体の機能分担として有効と考えます。	No.8の町の考え方と同じ

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
34	新庁舎建設の規模	P13	総務省基準はすでに廃止されており、これにこだわることなく、より合理的な検討は出来ないか。コンパクト化を前提にすべき。	総務省基準は廃止されていますが、新庁舎の規模設定において準用される算定方法として広く用いられているため、本基本構想においても適用しています。尚、その他必要なスペースについては、現状と今後新たに必要と思われるスペースを考慮して算定したのですが、今後基本設計の段階で配置計画等についてはコンパクトにするよう検討していきたいと思っています。
35	新庁舎建設の規模	P13-14	現行案では3,500~4,000㎡規模の整備が想定されていますが、将来人口減少やデジタル化の進展を踏まえ、必要最小限の規模で整備し、将来的な拡張可能性を残す段階的整備を検討すべきです。必要機能を絞り、初期段階はコンパクトな庁舎でスタートし、利用状況に応じて増築可能な設計を求めます。	No.34の町の考え方と同じ
36	新庁舎建設の規模 2)その他必要なスペースの算定	P14	印刷室って何？コピー機置くだけ？ 電算室って何？ 町民交流スペースなぜ庁舎にいる？ 災害対策本部の間取り 機材が置けるのか キッズコーナー 大紀町に何人子供いますか 授乳室 毎年何人生まれますか	No.34の町の考え方と同じ
37	新庁舎建設の規模 2)その他必要なスペースの算定	P14	電算室は何する所？ CATVスタジオは2つも必要か？ 大台町は行政チャンネルを廃止する(25年4月16日付 中日)大紀町も新庁舎を目指すならこの際行政(組織)の見直し・マニュアルの改正をすべきだ。	No.34の町の考え方と同じ
38	新庁舎建設の規模 2)その他必要なスペースの算定	P14	防災拠点として、高齢者、障がい者が安心して避難し、滞在できる環境を考慮するとともに、駐車場の確保関係から、備蓄倉庫等の敷地内設置も考慮していただきたい。	いただいたご意見は、参考とさせていただきます今後基本設計の段階で検討していきたいと思っています。

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
39	建物構造	P15	「建物構造の初期建設コスト及び維持管理コスト、」につきまして町民の皆さんの注目が集まるポイントだと思います。人口増減のパターンと同じように建設費用についてもいくつかのパターン[工事中や見積もり段階中での建設資材や人件費の高騰]を想定してご提示をお願いしたいと思います。建設資材や人件費の高騰により中野サンプラザや岐阜駅前の再開発が暗礁に乗り上げてます、また尾鷲警察署は修繕、改装でリニューアルオープンしました。	建物構造につきましては、基本構想(案)では初期建設コスト及び維持管理コストや様々な条件を考慮した上で最適な構造としますという表現となっております。今後基本設計の段階で事業規模、事業費等を協議検討しお示しできるようにしていきたいと思っております。
40	駐車場整備	P16	来庁者駐車場 想定人口7300人はおかしい。5000人で計算すべき。	No.19の町の考え方と同じ
41	駐車場整備	P16	想定人口は7300人ではなく、5100人とすべき。大紀町は広域にわたっており、本庁への来庁者はそれほど多くないのが実態では。特別な要件以外は支所対応が可能であり、現状の来庁者数の把握を基本にすべきである。ましてや人口減は明らかであるので来庁者駐車場もこの半分くらいが妥当では。議員駐車場はその利用頻度からして特に必要ではないのでは。 職員駐車場は本来自前で確保すべきものである、本計画とは切り離して場所も含めて別に考えるべきものである。仮に本計画に織り込むのであれば、当然のことながら有料にすべきものである。(駐車場の半分を職員が占有しているような市町はどこにもない。)	No.19の町の考え方と同じ
42	駐車場整備	P16	職員用駐車場は107台とある(P10の職員数と同じである)通勤に2km未満は徒歩通勤ではないか。全職員分は不要だ。又他の自治体では通勤の駐車場は各自で確保駐車代を支払っているところもある。大紀町では駐車代をとるのか?P14にコンパクトな庁舎とある。	No.19の町の考え方と同じ
43	庁舎の執務空間方針	P16	職員アンケートはともかく、住民サービスを第1義とした建物にしてほしい。	職場環境アンケートは執務空間の整備の参考としますが、庁舎建設の基本は住民サービスを第1義的に考えていきます。

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
44	参考資料 (1)職場環境アンケート結果	P18～ 22	アンケートについて これは不必要な資料では？職場は職員が作るもの。要望を出したらきりがない。自分達での工夫を職場改善の会議や提案しているの？	No.43の町の考え方と同じ
45	参考資料 (3)各課からの要望事項	P21	「ロッカールームの整備、、」につきまして一般的企業でもロッカールームの整備は縮小傾向にありますし(スペースの有効利用とは逆方向)一般職の方は制服がないでしょうし最小限にとどめるべきだと思います。コートや上着をかける事のできる椅子も多いですよ。	No.43の町の考え方と同じ
46	その他	—	今回の説明で建て替えの必要性は伝わりましたが、既存の廃校の解体や町全体のインフラ整備、廃校とある土地の利用、企業誘致などあわせて考慮しながら、より良い町政を強く要望します。 町全体の問題として空き家問題もある中、町の建物が空き物件で廃屋状態では困るので、仮設住宅の候補やその他の活用も検討していただきたいと思います。 人口減少に伴う税収入の懸念もあり、色々制限がかかる中、最良の方法を検討していただきたい。 10年後、20年後再度町合併などの可能性があるのではないかと考えた点もあるのでないか？ 紀北町の紀伊長島では旧高校を利用して業務していますが、もしかして新庁舎の建設計画もあるかも知れませんが、いろんな意味を参考にし、住民が納得のいく建設事業を計画していただきますようお願い致します。	いただいたご意見は、今後の調整においての重要な課題でありますので、参考とさせていただきます検討してまいります。
47	その他	—	高齢化、空き家が増えている、人口減少、物価高騰、独居老人、老老介護など予算があるのであれば、福祉強化、納税者に還元していただきたい 建て替えの必要はないと思います	人口減少、少子高齢化等は当町だけでなく全国的に問題となっております。しかしながら大紀町として町民の皆さんが安全で安心して生活していただけるよう行政運営をしていかなければなりません。このことから本庁舎の機能は必ず必要であり、いずれは更新整備することになります。建築費の高騰を考えると現時点であれば健全な財政状況の範囲を維持しつつ庁舎の整備を行うことができると考えていますのでご理解をいただきたいと思っています。

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
48	その他	一	大紀町新庁舎建設基本構想(案)ですが、外部コンサル・コーディネート会社の方も入って構想案を作られたのでしょうか？それとも大紀町職員の皆さんで作られた構想案でしょうか？	基本構想(案)につきましては、公益財団法人三重県建設技術センターの支援・協議により策定しております。
49	その他	一	防災拠点とできるような庁舎とするため、電気・ガス・水道などのインフラを自給できる、例えばオフグリッドなどの先端技術を取り入れた設備が望ましいのではないのでしょうか。建設費用が大きくならないように考えすぎて、中途半端なものを建設しても、いざという時に役立たなければ意味がないと思います。南海トラフ地震が発生して(半島地域であるために)主要都市部から孤立しても機能を失わないような、日本でも最先端の庁舎を目指してはどうでしょうか。	いただいたご意見は、今後の調整においての重要な課題でありますので、参考とさせていただき今後基本設計の段階で検討していきたいと思っております。
50	その他	一	大阪万博会場の様な全国でも自慢の出来る木造新庁舎の建設を提案します。 これからの気候変化による大型台風なんかの影響や東南海地震のある事を予想してなるべく低層の耐震設計で高さは2階までとし、建設面積は必要なだけ広くてもよいが新建材などを使わずオール木材で建てることを提案します。 技術的には集成材を使った大型木造建築の技術は開発され全国的には其の技術を使った建造物が大阪万博会場だけでなく沢山できている事を調査してほしいと思います。 木造の新庁舎なら職員も気持ちよく仕事ができるのではないかと思います。 なぜなら木造は鉄骨や鉄筋の建物より精神的に落ち着き心が癒される効果があると実験で証明されています。	最近整備を行った類似の他自治体の中には木造建築の庁舎を建設した町もありますので、いただいたご意見は参考とさせていただき今後基本設計の段階で検討していきたいと思っております。
51	その他	一	最初から結論ありきでなく、あらゆる可能性を排除することのない検討が必要。現状の不稼働資産の活用策を真剣に考えるべきで、耐震の問題があればこれに費用をかけた方が全体として安く済むならそうすべき。また学校施設も随時統合問題が差し迫っており、これを含め総合的に検討すべきでは。例えば七保小など有力な候補となりうるのではないのでしょうか。近隣では紀北町は長島高校の校舎をリノベーションして本庁舎としている。	No.17の町の考え方と同じ

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
52	その他	—	30億円の費用見込みはどう考えても本町の財政力から見て過大である。「今後も他の事業の実施に影響なく行財政運営を行っていく」との説明であったが、甚だ楽観的な見立てであり信用する根拠に乏しい。 これ以上起債(借金)をしてまで過大な箱ものを建てることは避けるべきで、庁舎を建てても財政が破綻すれば結果として住民サービスができなくなる。やれるのであれば庁舎建設に係る起債はやめて、基金の範囲内でできるだけ身の丈に合ったコンパクトなものとし、町民に納得の得られやすいプランをいくつか掲示して住民投票などを実施して決めるべきでは、と考えます。 大紀町も間違いなく更なる人口減が進み、税収も更なる減少が予想される。限られた予算はハード面よりもソフト面に傾斜配分していくべきで、町の現有施設整備のスクラップも思い切ってやってからビルドを考えたらいかがでしょうか。	財政的に町民の方には、住民サービスの低下を招くことなく庁舎建設ができると見込んでおりますが、いただいたご意見は、今後の調整においての重要な課題でありますので、参考とさせていただき今後基本設計の段階で検討していきたいと思っております。 住民投票につきましては、今のところ考えておりませんが、今後の町政においての重要な課題であると考えております。
53	その他	—	新庁舎の前に小中学校の廃校はどうするの？もみじ茶屋は早く方針を決めて発表してください。お金がかかる事です。大至急 また学校の備品、ピアノや机、いす等不要決定して売りに出し、歳入外債権として町税に入れたら？また実験で使った化学薬品は適正に管理処理しているでしょうか？	小中学校についてはNo.46の町の考え方と同じもみじ茶屋につきましては、令和5年12月末から閉館しています。 またその他いただいたご意見は、参考とさせていただき検討してまいります。 なお化学薬品については適正に管理しています。
54	その他	—	予定されている新庁舎に、災害発生時の避難者の受け入れは想定されていますか？	災害発生時の避難者の受け入れにつきましては、新庁舎では可能な範囲で受入れることを想定しています。

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
55	その他	一	なるべく費用がかからない構想をお願いしたいと思っております。 現庁舎の改修は難しいとのことでしたが、新庁舎の建設費用と現庁舎改修費の概算でもよいので、比較できる資料があると分かりやすいと感じました。 新庁舎を建てるにしても、滝原宮の近くということを考慮して、見栄えを気にして派手にする必要はないと思います。今後は住民数も減少していくことが予想され、来庁者数も多くはないと思います。 万が一の災害時に防災体制が取れた施設でもあれば十分です。 今後どのように進めていくのか、その都度、住民に丁寧にご説明いただければ幸いです。	いただいたご意見は、今後の調整においての重要な課題でありますので、参考とさせていただき今後基本設計の段階で検討していきたいと思っております。
56	その他	一	「基本構想(案)」は庁舎建設の財源策についての記述がないのは何故か。 30億円とも言われている建設費について財源策の記述が一切無いのは何故か。 人口がどんどん減っていく状況の中で、財政力の乏しい大紀町が30億円もかけて新庁舎を建設しようとしていることについては、多くの町民の間から反対や不安、疑問の声が上がっている。そんなお金があるなら、もっと別のことに使ってほしいという声が圧倒的だと思う。	No.10の町の考え方と同じ
57	その他	一	町民の意見を広く聴くためにも「庁舎建設に関する住民投票」を実施することを強く求める。説明会、パブリックコメントだけでは「町民の意見を伺いながら進めていく」には不十分だと考える。「住民投票」の実施を求める。	No.52の住民投票の考え方と同じ

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
58	その他	ー	新庁舎の建設は、人口減少が進む中で、財政負担が懸念され、地域活性化につながるのかは疑問です。新庁舎建設ではなく、代替案の検討を求める。①既存施設の活用。既存の公共施設をリノベーションし、地域の拠点として活用する。②住民参加型の地域づくり。住民が主体となって地域課題を解決するためのプログラムの導入。③デジタル化の推進。行政手続きのオンライン化を進め、住民の利便性を向上させる。 新庁舎にかかる多額の費用は、将来的な町の運営や住民サービスにどのような影響を与えるのか、明確な説明が求められる。 高齢者が増える中で、医療や福祉、交通インフラなど、他の優先度の高い分野に予算を振り向けるべき。 当法人は、高齢者サービスを運営し、日々多くの高齢者の方々と接する中で、コメントする。 関わる高齢者の方々の多くは、すでに自力で役場など公共施設に出向くことが困難で、付き添いや送迎が必要なケースがほとんどです。このような状況の中で「庁舎に行けること」が前提の新庁舎建設基本構想(案)は、実際のニーズと乖離しており、行政サービスの公平が保てないので、高齢者や移動困難者への現実的な対応(手続きのオンライン化・簡素化に加え、サポートする仕組み。出張窓口や巡回サービスの拡充等)を最優先に検討していただきたい。 大紀町人口ビジョンの「地域一体となった取り組み」とあるが、その目標に対する具体的な取り組み内容が現時点で明確に示してもらいたい。特殊出生率2.2とあるが、人口維持するためには必要な水準であるが、町の現状では困難である。 地域の未来に関わる重要なことであることから、地域一体での協力体制を構築するためにも、取り組みの具体像を共有していただくことが重要だと考える。具体的な取り組みについて回答を求めます。	いただいたご意見は、今後の調整においての重要な課題でありますので、参考とさせていただきます。

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
			上記の内容含め、現在の財政状況や人口減少、地域住民のニーズを考えると、新庁舎の建設は時期尚早であり、町の貴重な予算を他の必要な施策に充てるべきだと考えます。今、本当に必要なのは「建物」ではなく、「住民サービスの拡充」と「地域活性化」であるはずです。町民一人ひとりが行政に希望を持てる町づくりこそが、今なすべきことではないでしょうか。 しっかり、今の現状を反映した、未来につながる計画をたて、ビジョンを示してもらいたい。その先の、新庁舎建設になるのではないかと。 また、この高齢化率の中、どれだけの町民が、今回の新庁舎コメントができるのか疑問である。意見を募集していることも知らない人が多い。 大紀町にある会社及び全世帯に向け、アンケートなど実施するなり、説明会だけではなく、丁寧な対応が必要であると思われる。	

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
59	その他	ー	建設案に目を通し、説明会に参加。 データや予算も曖昧な中、計画予定が決まっていることに驚きしかない。 大紀町の人口減少については誰もが知っていることであるにも関わらず、建設案はあまりにも現状を反映しておらず、人口減少についての説明が夢のような数になっていた。質疑応答では、近隣との合併も考えていく必要が出てくるのではないかと問いに「合併してくれるところがあるかどうか」と返答。20年後の大紀町に期待はできないのだと思わされた。曖昧な説明で、今後の大紀町のビジョンも明確になく、30億という新庁舎の計画をしている。質疑応答の途中では20～30億と返答も変わった。億の金銭が使われることに対し、データを持ち合わせておらず、驚くばかりである。説明会をすればそれで、説明責任は果たせたとなるのだろうか、疑問が残る。 情報不足や説明不足：計画の詳細や背景が十分に説明されていない。 ・住民参加の機会不足：意見交換の場が限られていると感じた。今回の説明会に参加しない人の中には、説明会があることを知らないという人がいたり、また、新庁舎建設することが決まっている説明会に出ることが“賛成”しているように見え、参加しなかったという方人も身近にいます。そういったことも含め、住民投票しないのであれば、せめて、住民の意見がわかるようにアンケートを実施してもらいたい。 ・費用対効果への疑問：新庁舎の建設費用や維持費用が、人口減少の中で妥当かどうか疑問です。 ・費用対効果の不透明さ ・人口減少・財政難という現状と計画内容との乖離 ・住民説明会の形骸化、住民の意見が計画に反映されていないこと 町の将来を左右する重要な計画であるにもかかわらず、説明責任が果たされていないと思われる。 ・アクセス手段の確保 公共交通の便が悪い地域からのアクセスが確保されなけ	いただいたご意見は、今後の調整においての重要な課題でありますので、参考とさせていただきます。

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
			れば、高齢者や移動困難な住民にとって庁舎は「使えない施設」となってしまう。送迎バスの運行や、デマンド型交通の拡充をご検討してもらいたい。説明会では、駐車場を広く、南海トラフの際に自衛隊が来れるようにと何度か言われていたが、能登の震災では、庁舎ではなく、被災地に自衛隊がいた。水が使えない被災地近くの運動場などに簡易トイレや入浴施設を設置していた。被災地に近い場所に沿った支援であったのではないのでしょうか。なので、広い駐車場がどこまで必要なのか。また、今の庁舎で駐車場に不便を感じたことはないという意見を聞き、確かにそうだと思った。これから高齢化を考えると、車を運転して庁舎に行ける人は年々少なくなるでしょう。駐車場を広くとり、行きやすい場所、利用しやすい場所であること。大紀町は合併したことで縦に広く、大内山、錦、野原などは庁舎まで遠く行けない。もっと行きやすく身近に、利便性を考え、区単位での支所の設置や希望する。現状の話では、特定の地域の住民に不利益が生じる可能性があるのではないか。 2. オンライン・出張サービスの充実 窓口に来ることが困難な高齢者向けに、オンライン申請や、職員による出張対応の体制を整えていただきたい。説明会では、顔が見える関係が良いと言われていたが、どの職種も人口減少で、人に代われるモノを利用し、人しかできない部分の差別化を図っている。ITをフルに活用し、効率化が図れることで、町民にとっても手続きなどへの時間削減になり、住みやすい町になると思われる。 町の財政状況や将来を見据えた施設整備は重要ですが、高齢者を含むすべての町民にとって使いやすい行政サービスが確保されてこそ、真に価値のある投資だと考えます。 ぜひ住民の実情に寄り添った再度検討し、実情に合った計画をお願いしたい。	

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
60	その他	一	新庁舎建設について、地元の木材を活用し、森林環境譲与税の活用と防災機能の整備により、国の補助を組み入れ、起債の借入れについて、縁故債等地元の銀行等の有利な利率の借入れを利用するなど、経費の縮減を図っていただきたい。	いただいたご意見は、今後の調整においての重要な課題でありますので、参考とさせていただきます。
61	その他	一	住民説明会での新庁舎建設予定経費の30億円から、無駄のないコンパクトな経費を縮小した新庁舎建設費とともに、新庁舎が建設されて以降の年間の維持管理経費について、お示し頂き、維持管理コスト等十分、見通しを立て財政に過度な負担がかからないよう、長期的な視点で、エネルギーの効率の高い建物の設計、メンテナンスのしやすい素材の選定を行っていただきたい。	新庁舎建設の基本方針に基づき、今後基本設計において庁舎全体の機能や規模等について検討し、可能な限りコンパクトに庁舎の規模や事業費の縮減に努めていきたいと思っております。
62	その他	一	先日の新庁舎建設説明会において、全会場で説明および質疑応答の内容が録音されていたことを把握しております。 この音声記録について、本日時点でどのように活用されるご予定か、明確にお示しください。 町民の生活や税金にも深く関わる重大な計画であり、質疑応答の内容を町民が正確に把握することは不可欠です。 録音内容を公正・透明に取り扱い、速やかに公開していただくよう強く要望いたします。 情報を適切に共有いただくことが、行政への信頼を築く第一歩であると考えております。 何卒、誠意あるご対応をお願いいたします	本質問は、直接パブリックコメントに関するものではありませんが、大紀町役場新庁舎建設地区説明会における質疑につきましては、意見要旨をホームページにて公表します。
63	その他	一	競争入札が不調になった場合どうするのか。当初予算額より追加工事等に増加した場合はどうするのか。	本質問は、直接パブリックコメントに関するものではありませんが、基本設計、実施設計の段階において物価高騰による影響等十分検討し不調にならないように努めます。

大紀町新庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメント結果

No.	該当部分	ページ	意見概要	町の考え方
64	その他	—	町民が主役の庁舎づくりのため、説明会や意見募集を通じて町民の声を反映することをより重視していただきたい。特に、維持管理費の将来負担や、日常生活へのメリット・デメリットが実感できる情報提供を求めます。	いただいたご意見は、今後の調整においての重要な課題でありますので、参考とさせていただき今後基本設計の段階で検討していきたいと思っております。 建設内容等の情報は、住民提供に努めさせていただきます。